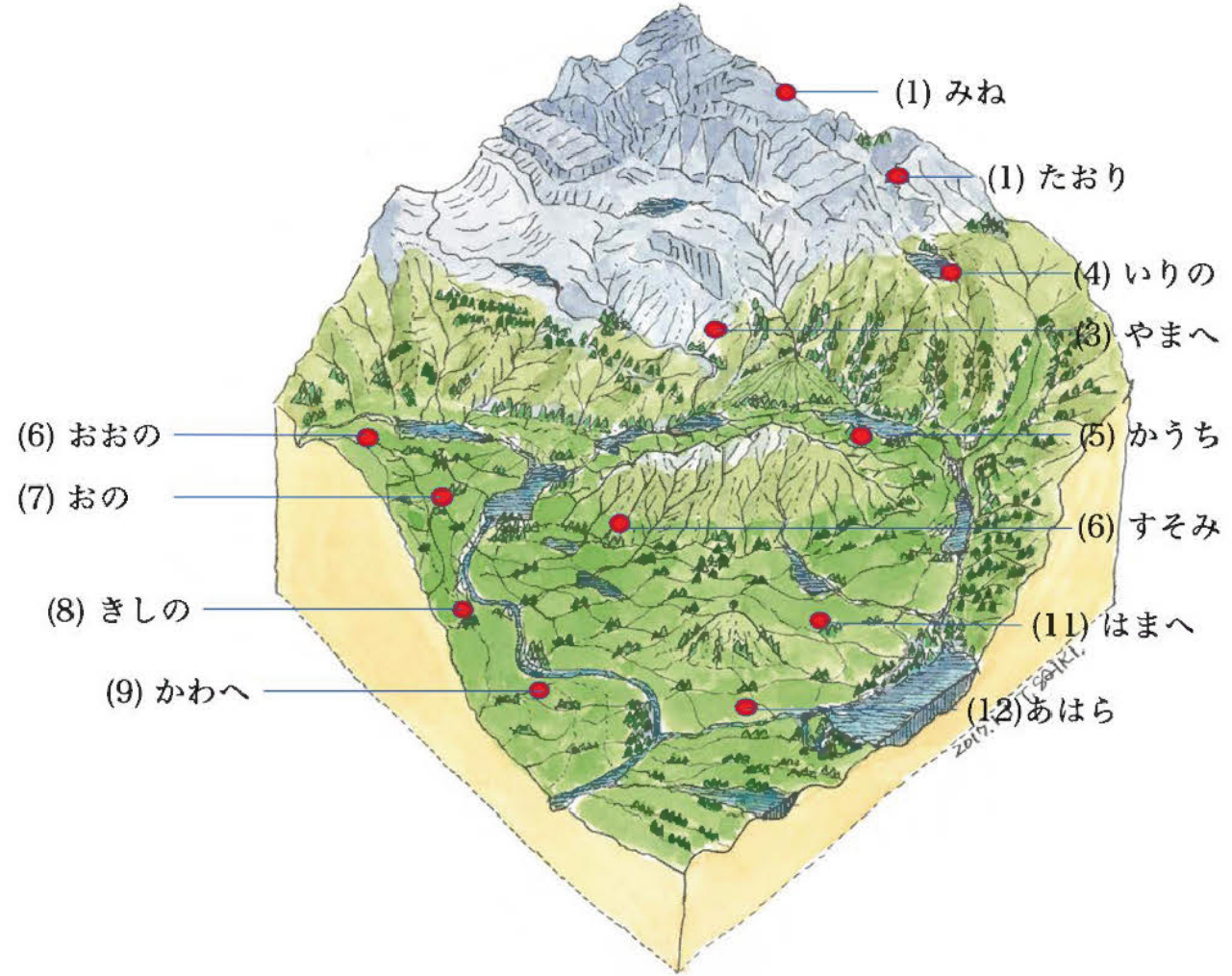


「地勢単位を生かし
人々が国土を撫育する
新しい定住様式を目指して」

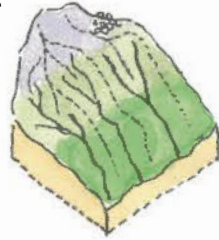
- 提案1 「持続型」
環境デザインプロセス
+
- 提案2 「自律分散連携型」
地域構造ダイアグラム



多様な集落とまちの地形立地

集落空間の
地形立地モデル
12
類型

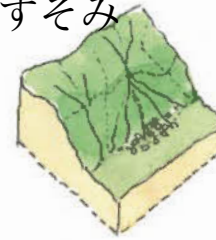
(1)みね



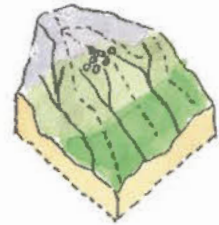
(5)かうち



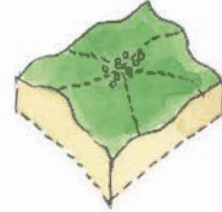
(9)すそみ



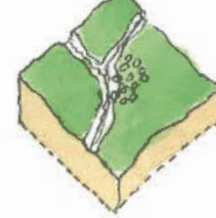
(2)たおり



(6)おおの



(10)かわへ



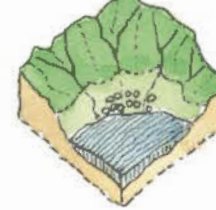
(3)やまへ



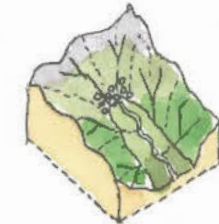
(7)おの



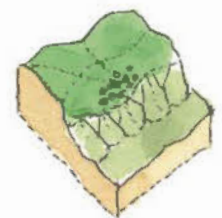
(11)はまへ



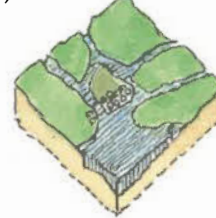
(4)いりの

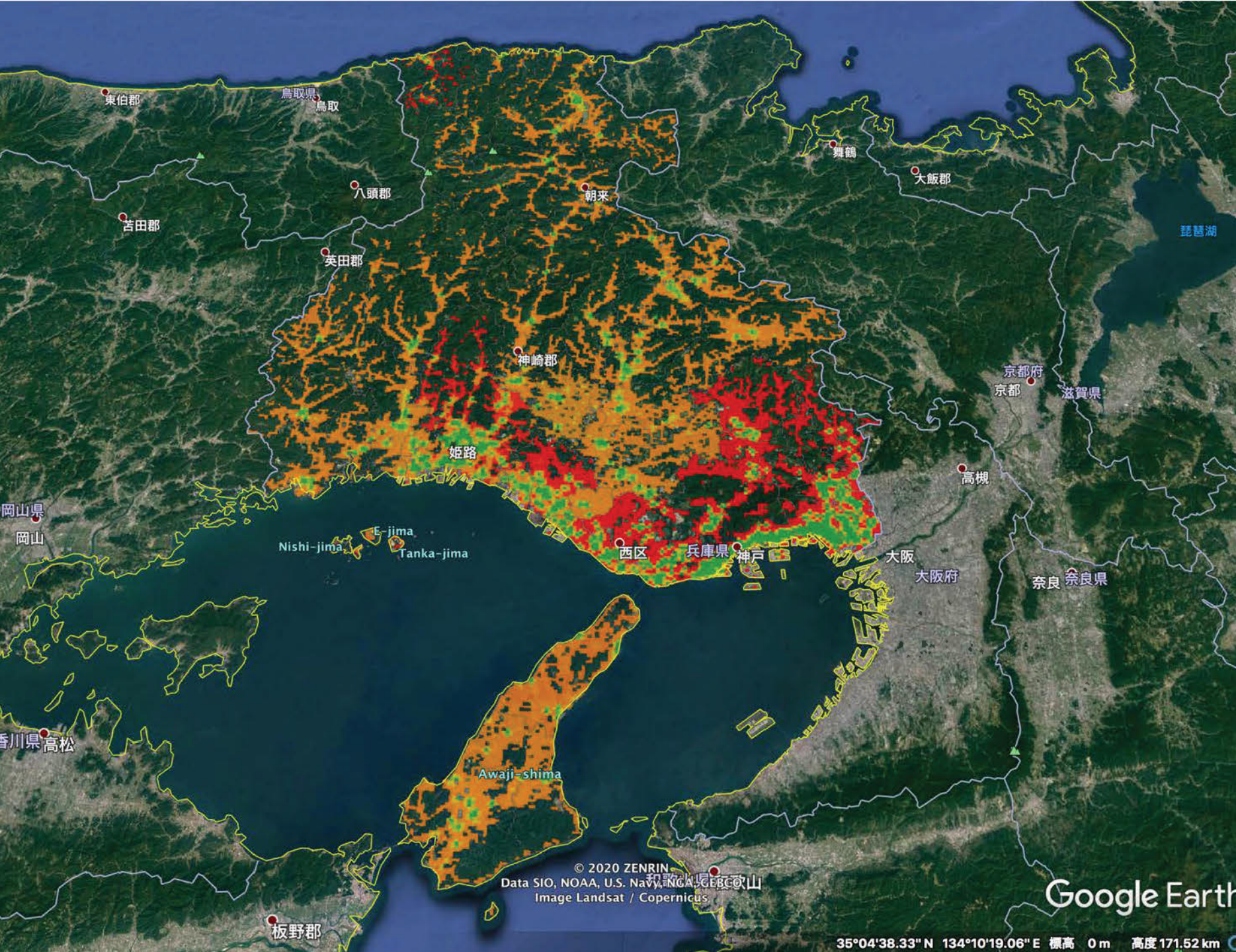


(8)きしの



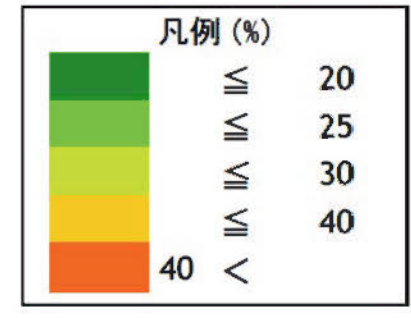
(12)あはら





資料-4 **図3**
 75歳以上食料品
 アクセス困難人口の割合
 (2015年) (28兵庫県)

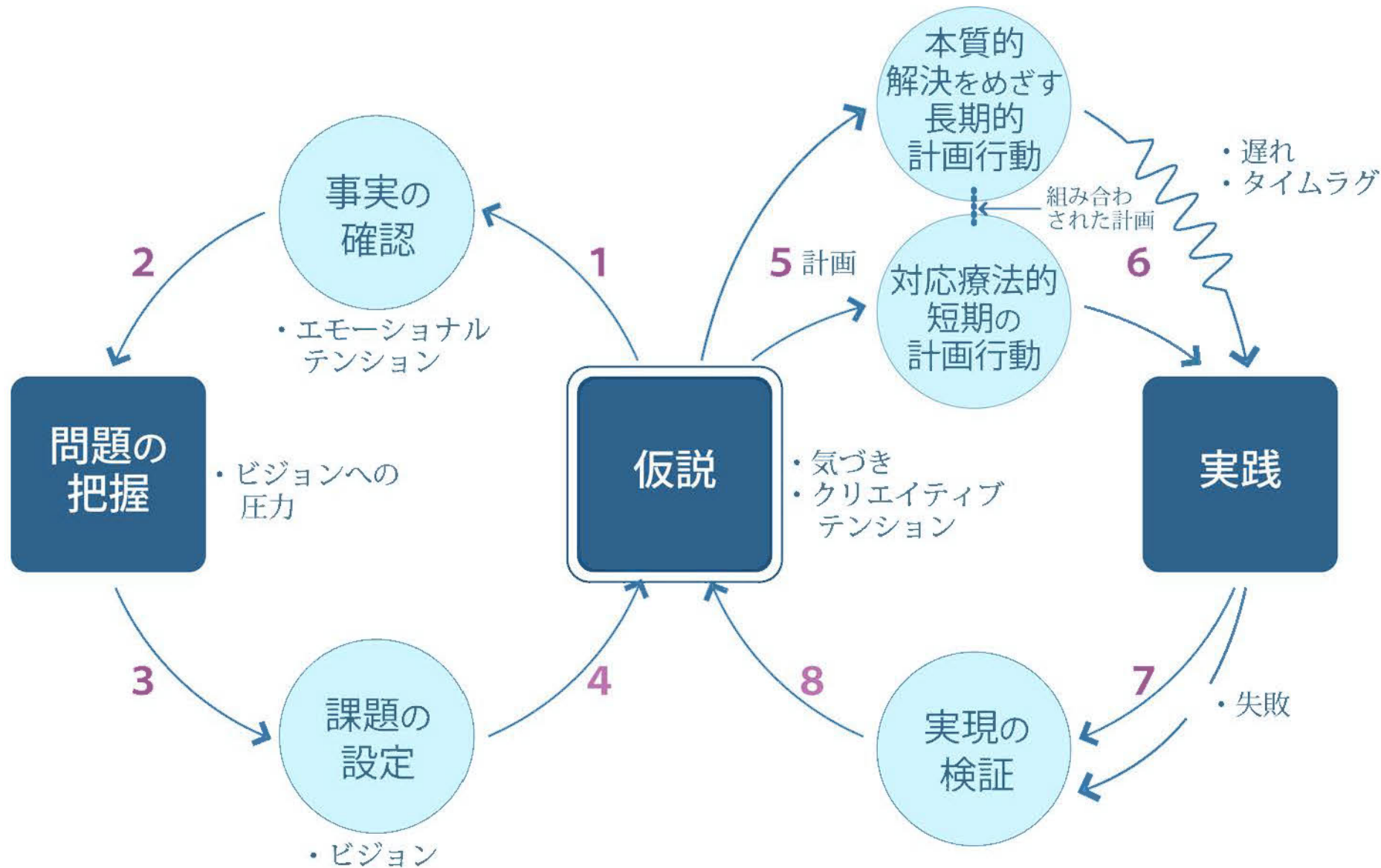
出典：農林水産政策研究所
 食料品アクセスマップ



資料：農林水産政策研究所

- 注1：アクセス困難人口とは、
 店舗まで500m以上
 かつ自動車を利用できない
 65歳以上の高齢者を指す。
- 注2：アクセス困難人口の割合とは、
 65歳以上人口全体に占める
 アクセス困難人口の割合を表す。
- 注3：店舗は生鮮食料品販売店舗、百貨店、
 総合スーパー、食料品スーパー、
 コンビニエンスストアである。

図 4



- 2-1 流域単位の県政組織の再編
- 2-2 基礎コミュニティ単位の実態把握
- 2-3.流域の文化と生態情報の可視化

- 1-1 兵庫の流域文化と定住様式を捉えなおす
- 1-2 人間と自然生態の持続的共生をめざす

本質的
解決をめざす
長期的
計画行動

6. 流域文化と定住様式の多様性を地域の生態文化資源として活用

・遅れ
・タイムラグ

図5

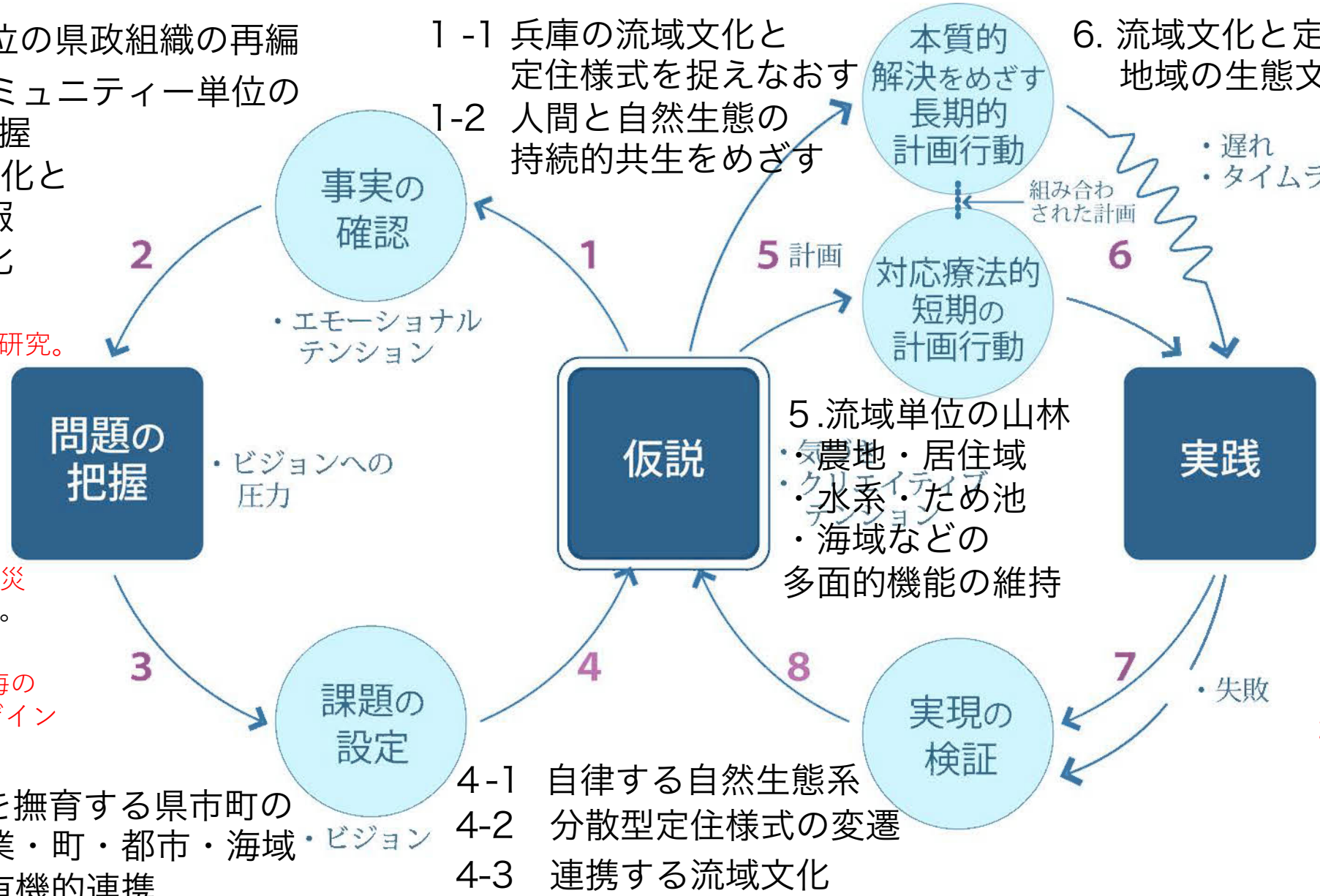
1986年
：日本の集落空間研究。

1989年
：スイスの集落空間研究。

1995年
：阪神・淡路大震災被災地実態調査。

2006年：瀬戸内海のエコロジカルデザイン

- 3-1. 各流域を撫育する県市町の治山・農業・町・都市・海域管理の有機的連携
- 3-2 林野と農業と土木と港湾漁業が連携



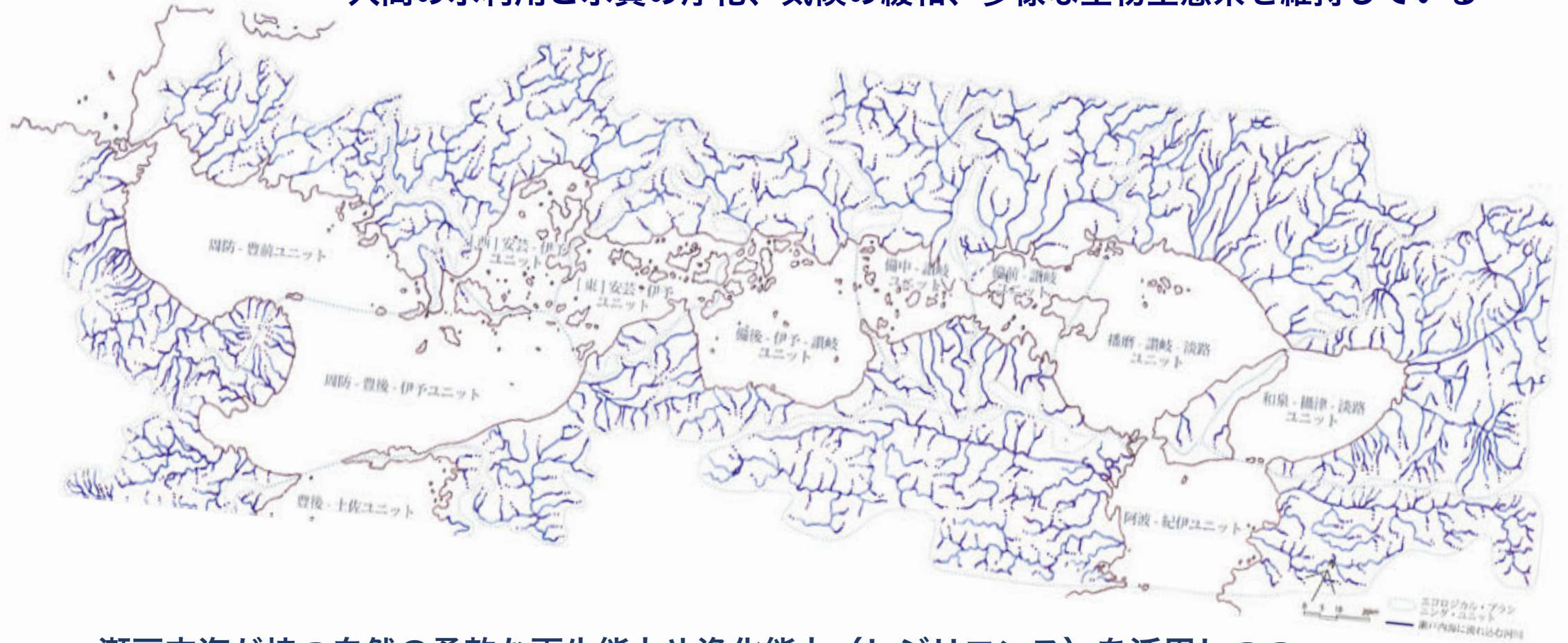
1991年
：神戸市の人と自然の共生ゾーン条例の設置

1997年：イギリス田園都市レッチワースと集落を研究。

2001年
：ガーデンシティ舞多聞みつけプロジェクト

2020年：
：ガーデンシティNPO ガーデンシティ舞多聞倶楽部を創設。新エリアマネジメント

瀬戸内海に流れ込む河川は、それぞれの流域において
人間の水利用と水質の浄化、気候の緩和、多様な生物生態系を維持している



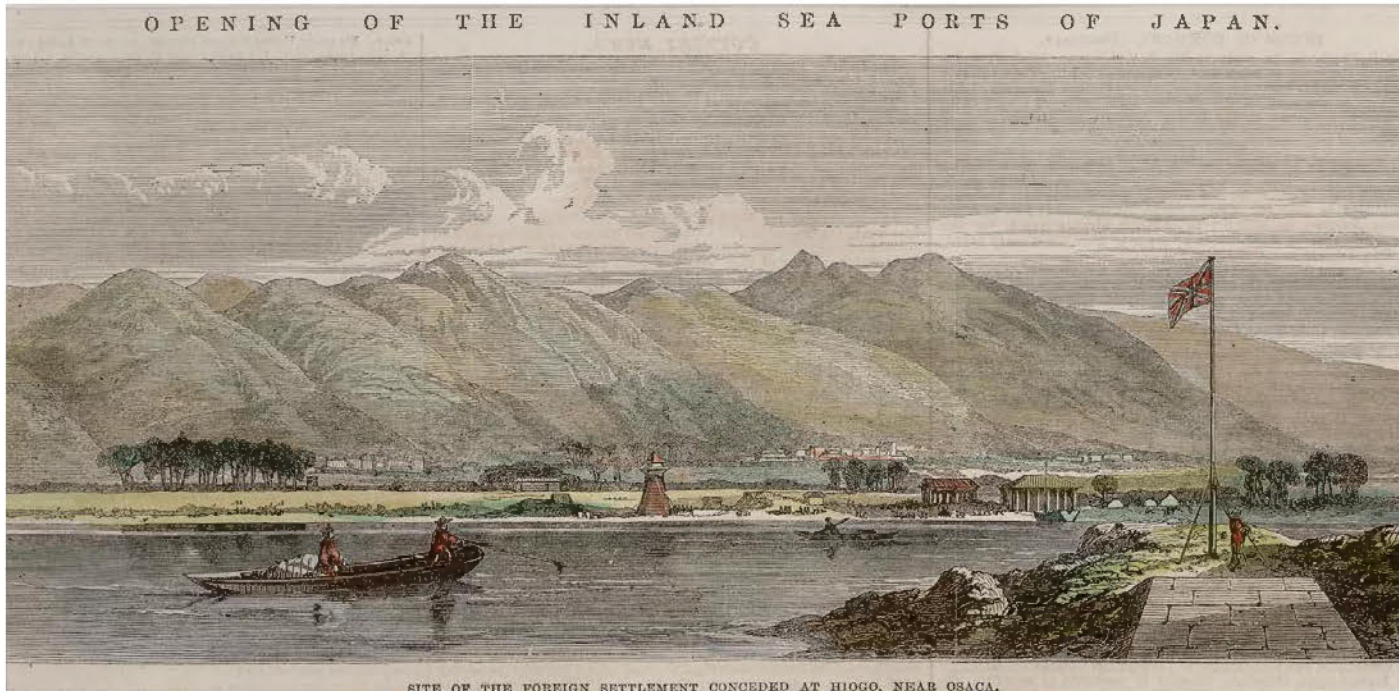
瀬戸内海が持つ自然の柔軟な再生能力や浄化能力（レジリエンス）を活用しつつ、
自然の営みと人々の営みが融合した、持続可能な瀬戸内海の将来を創造していく

図7

神戸の地勢図

六甲山系がつくる
地勢単位が
生活と生産単位





The Illustrated London News
「兵庫開港の図」1868年
原図：齊木崇人所蔵

図8

全ての地形は
人の手で撫育されてきた。



植林時の六甲山 1903年（明治36年）



植林後10年目1913年（大正2年）



神戸市水害誌附図 齊木所

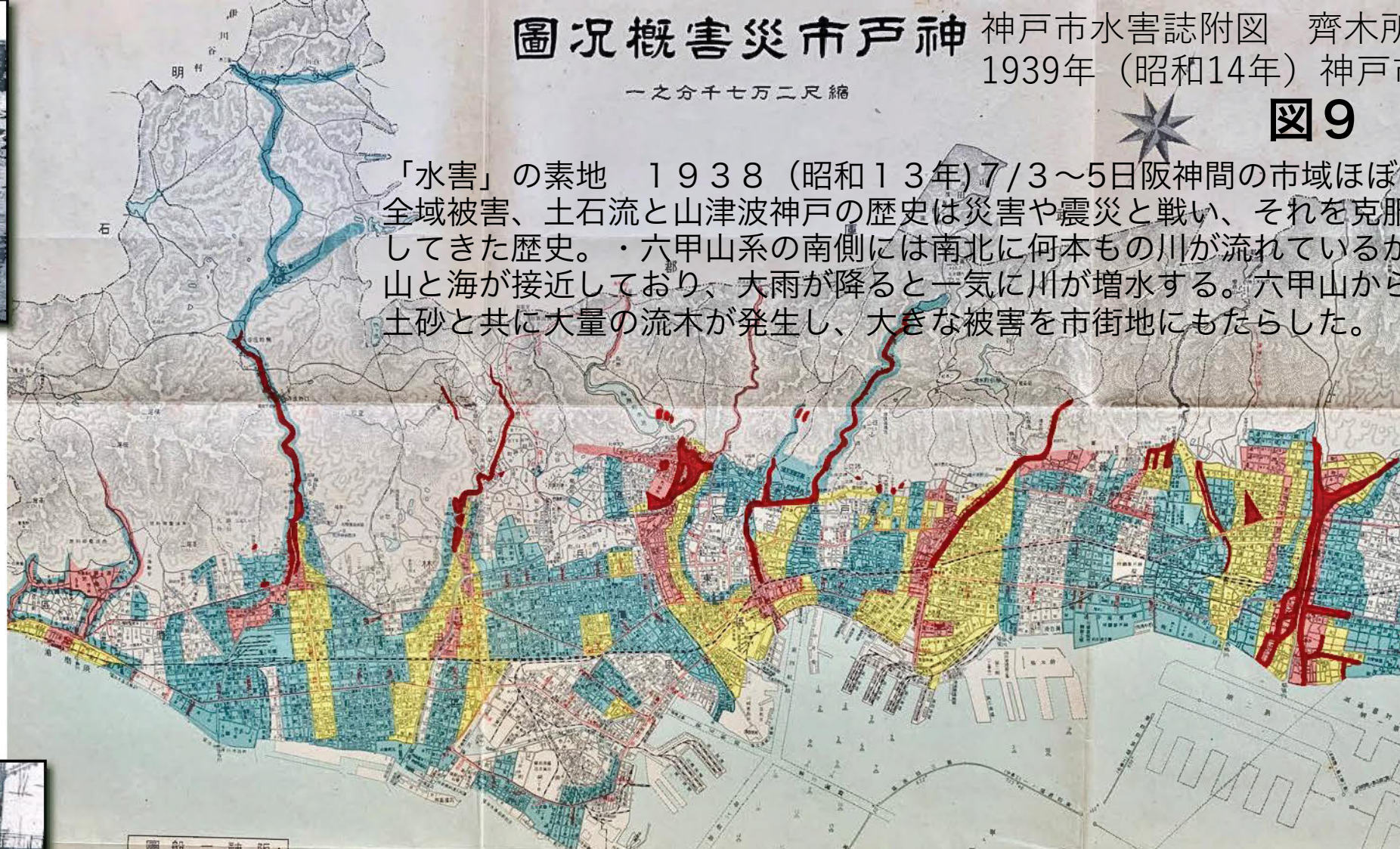
1939年（昭和14年）神戸市

一之分千七万二尺縮



図9

「水害」の素地 1938（昭和13年）7/3～5日阪神間の市域ほぼ全域被害、土石流と山津波神戸の歴史は災害や震災と戦い、それを克服してきた歴史。・六甲山系の南側には南北に何本もの川が流れているが山と海が接近しており、大雨が降ると一気に川が増水する。六甲山から土砂と共に大量の流木が発生し、大きな被害を市街地にもたらした。



「阪神大水害」1938年7月
昭和13年（7月3～5日）
集中豪雨市内の7割が被災、

死者731人
（うち、神戸市616人）
国土の撫育を忘れると
災害に遭遇する。



- ・写真は、1938年7月（昭和13年7月）の阪神大水害の際の様子。市内の7割が被災、道路は濁流が走り、後に大量の流木が残った。
- ・この後1967年7月（昭和42年7月）にも大きな水害に見舞われた。この時の雨量記録がそれ以後の防災施設の設計基準として採用されてました。

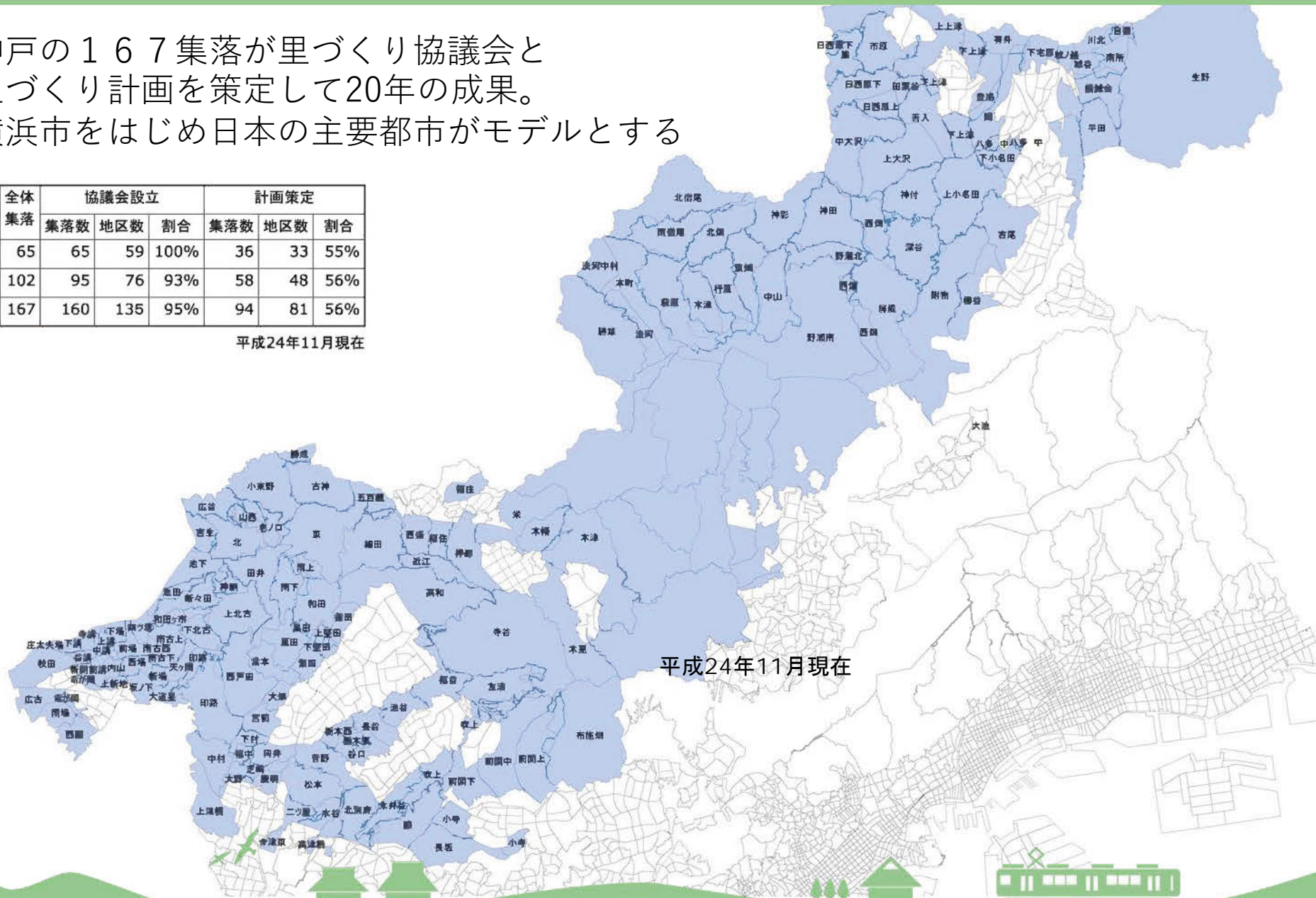
神戸市里づくり計画策定状況

図10

神戸の167集落が里づくり協議会と里づくり計画を策定して20年の成果。横浜市をはじめ日本の主要都市がモデルとする

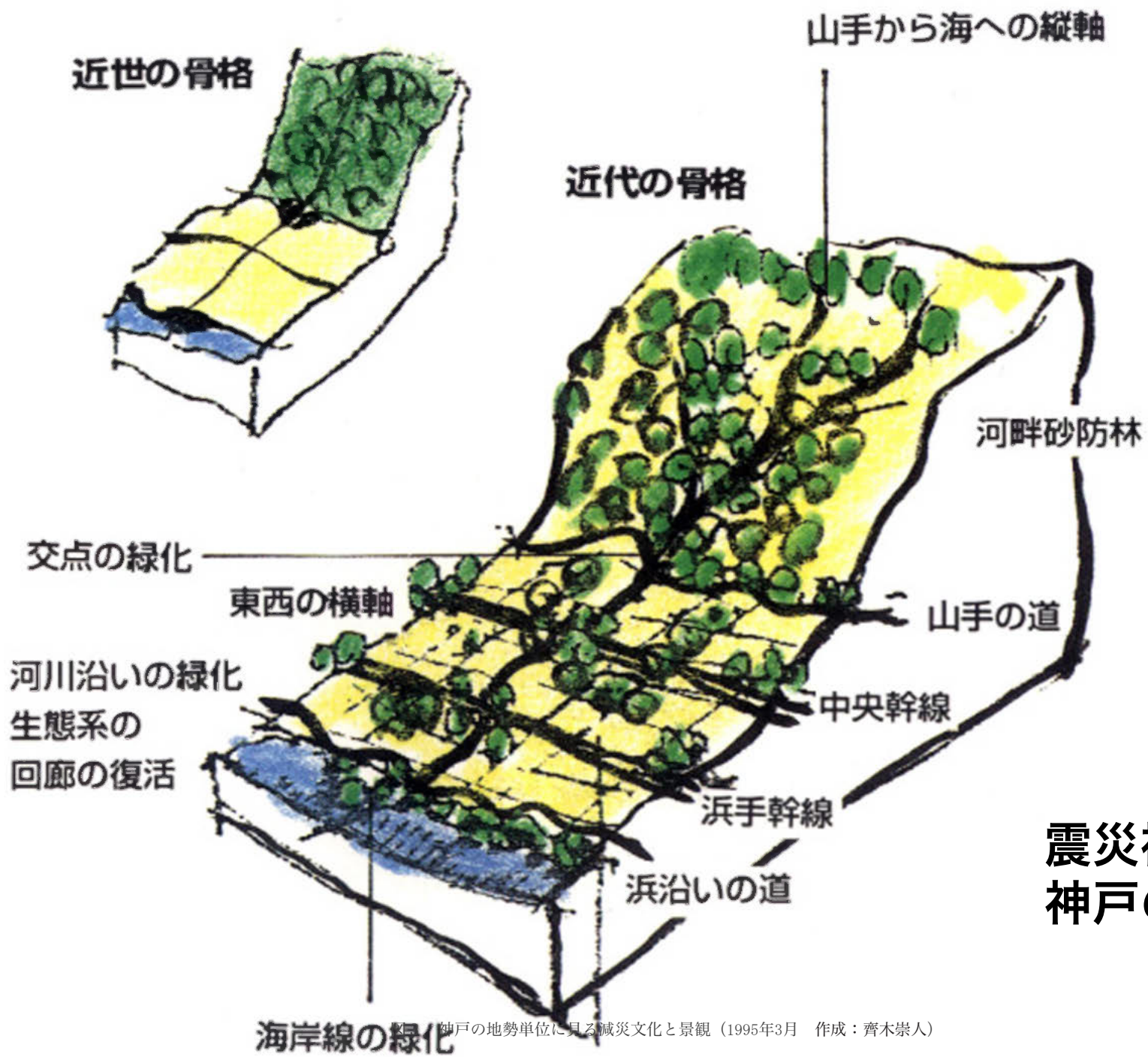
| 区 | 全体集落 | 協議会設立 | | | 計画策定 | | |
|----|------|-------|-----|------|------|-----|-----|
| | | 集落数 | 地区数 | 割合 | 集落数 | 地区数 | 割合 |
| 北 | 65 | 65 | 59 | 100% | 36 | 33 | 55% |
| 西 | 102 | 95 | 76 | 93% | 58 | 48 | 56% |
| 合計 | 167 | 160 | 135 | 95% | 94 | 81 | 56% |

平成24年11月現在



平成24年11月現在





震災被災調査に見る 神戸の「地勢単位」

齊木崇人 1995.2

図12

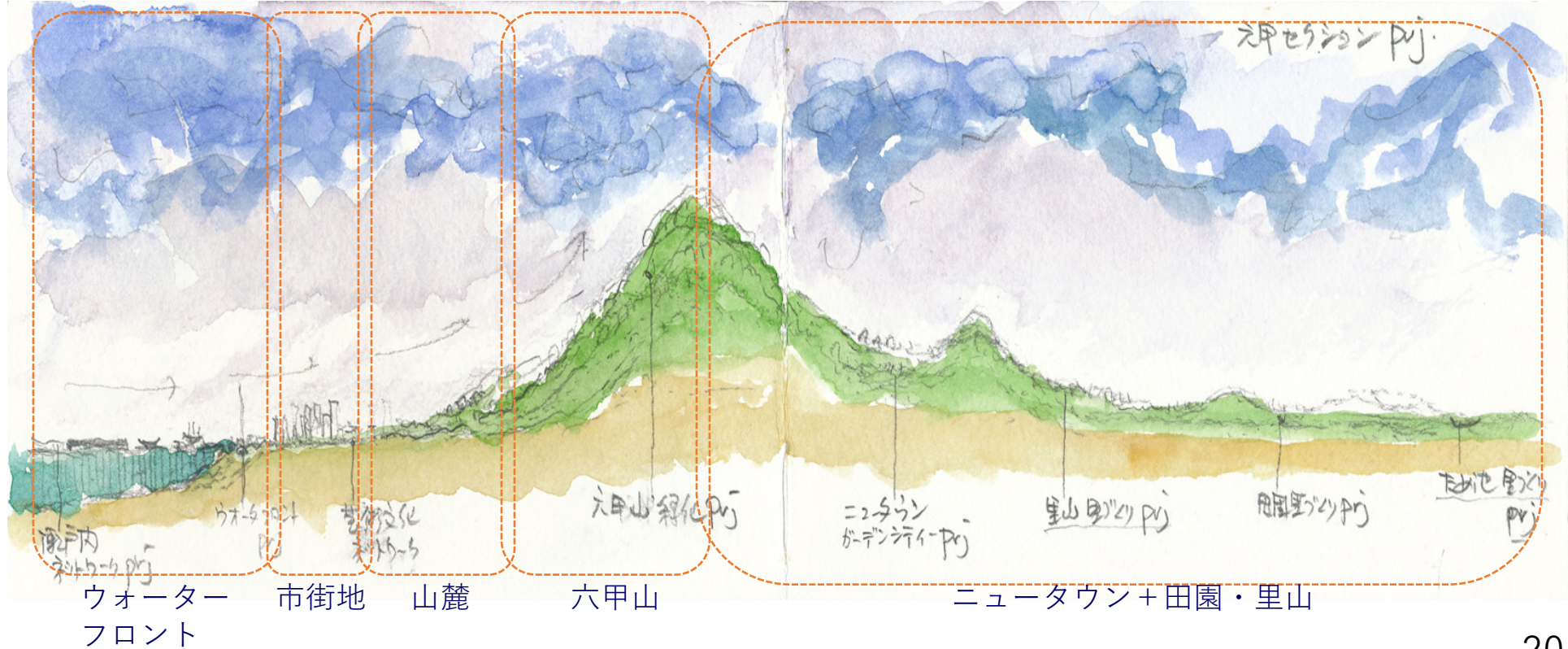
空から見る神戸

鳥の目と蟻の目

多様な風景を
見せる

断面で見る神戸は

兵庫県の縮図



- 神戸ビエンナーレ
- デザインクリエイティブセンター神戸
- アートとメディアがデザインを刺激する

世界のネットワーク
D・シーズ・コンペ

- ①水資源の安定供給 (上下水道,工業用水,農業用水,海水)
- ②瀬戸内海・関西メガ・リージョンと連携した多様な公共交通ネットワーク
- ③地域コミュニティを形成する街区・市民公園
- ④質の高い居住環境と都市空間の整備

● 創造性あふれた人が住み、働く環境づくり

● 地域固有の多様な資源と魅力を活用する (場所の特性把握)

エコロジカルユニット

Prj.神戸の集落と民家
Prj.震災実態調査
Prj.人と自然の共生ゾーン条例 (里づくり)

後世にやりのこしをつくらない

更新時間の圧縮



Prj.新・田園都市 (ハワードの夢)
ガーデンシティー舞多間
公園と街並の整備 (過密は何も解決しない)
Prj.茅と民家とエコロジー (住み替え)

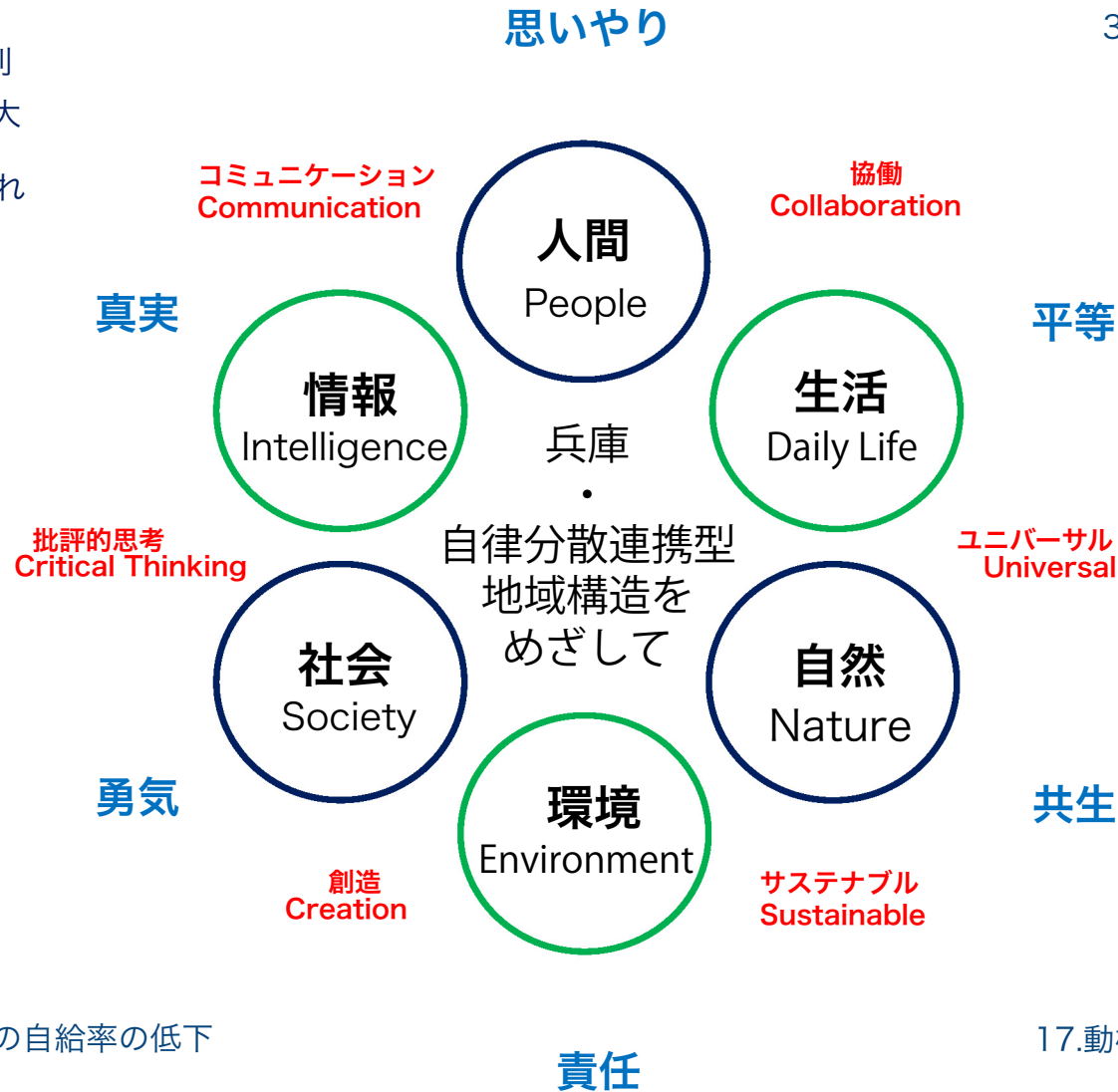
- ①六甲山や里山の緑化と治水, 水資源確保と再資源化
- ②発電方法の開発と省エネルギー
- ③隣接する市町と連携した非常時のエネルギー・食糧供給
- ④地産地消の奨励

- ①大気汚染,温暖化への対応
- ②水質・土壌汚染の解消
- ③ごみ,廃棄物の減量と再活用
- ④食料汚染の解消

- 新たな産業文化や芸術文化を生み出す
- 知識産業,情報産業,観光産業の活性化
- ソーシャルビジネスの開発
- クリエイター,デザイナー,アーティスト,プランナーの養成

財産区 多世代 健康・福祉
Prj.里づくり
Prj.三宮中央通と出会いの門
Prj.新・田園都市 ガーデンシティー舞多間
エリアマネジメント

- 1.人口の減少少子化,高齢化
- 2.地域間の格差の増大
ジェンダー・人種・と差別
- 3.利便性優先の消費型経済の拡大
- 4.産業とICT技術の革新基盤の遅れ
- 5.グローバル化と
パートナーシップ経済の拡大
- 6.歴史的遺産の崩壊
- 7.デジタル情報の増大と拡散
- 8.犯罪の増加と対策の遅延
- 9.教育格差と質の低下
- 10.インナーシティの
地価高騰と郊外の下落
- 11. 公的未利用地と
未利用施設の増加
- 12. 公共交通体系の衰退と
交通弱者の増加
- 13.エネルギー・食糧供給の自給率の低下
- 14.水資源の不足
上下水道,工業用水,農業用水,海水



- 31.地域コミュニティの衰退、疎外、孤独
- 30.雇用機会の喪失
不況、ホームレス、所得格差、貧困
- 29.疾病の増加・拡散
- 28.健康や福祉対策の格差
- 27.住環境の老朽化と
ニュータウンの衰退
- 26.空地・空き家の増加,
利便施設の衰退・解体
- 25.無秩序な土地利用と土地の劣化
- 24.ごみ,廃棄物の増加
- 23.農地と里山の荒廃
生産基盤の弱体化
- 22.回復力や復元力の衰退
- 21.自然災害 (地形,土壌,地質)
洪水、地崩れ、地震、津波
- 20.気候変動、台風、水害
- 19.大気汚染,温暖化
- 18.樹林地・民有緑地の持続的管理の放棄
- 17.動植物生態系の崩壊と生物多様性の損失

凡例 20200717
 紺●：営みの主体：人間、社会、自然
 緑●：働きかける対象：生活、環境、情報
 橙●：今日の思潮 2020/03/13
 青●：アフターコロナ持続的課題 2020/03/13

15.安全な水質・土壌汚染・食料汚染対策の遅れ

16.海域汚染と漁業資源の減少



兵庫地勢図
主要水系図

图15



買い物アクセス
 貧困マップ2012

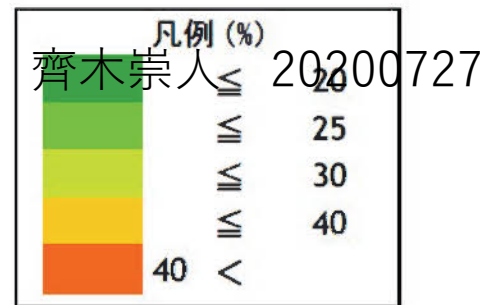
図16

出典：農林水産政策研究所
 食料品アクセスマップ

500m未満地域 :緑
 500m以上の地域:赤 橙

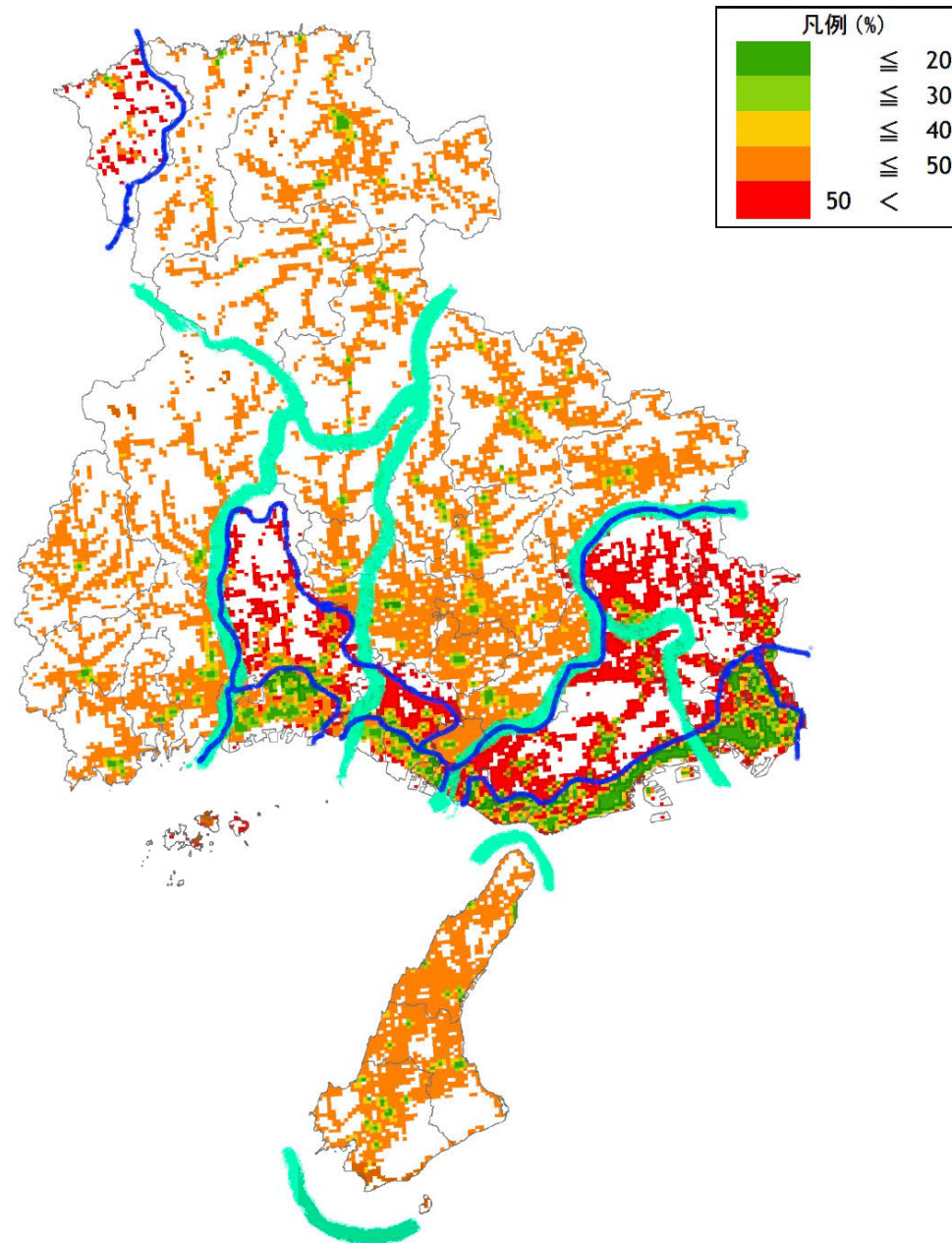
兵庫地勢図

主要水系図



買い物アクセス
貧困マップ2015
出典：農林水産政策研究所
食料品アクセスマップ

区域特性区分図
齊木崇人
20200727



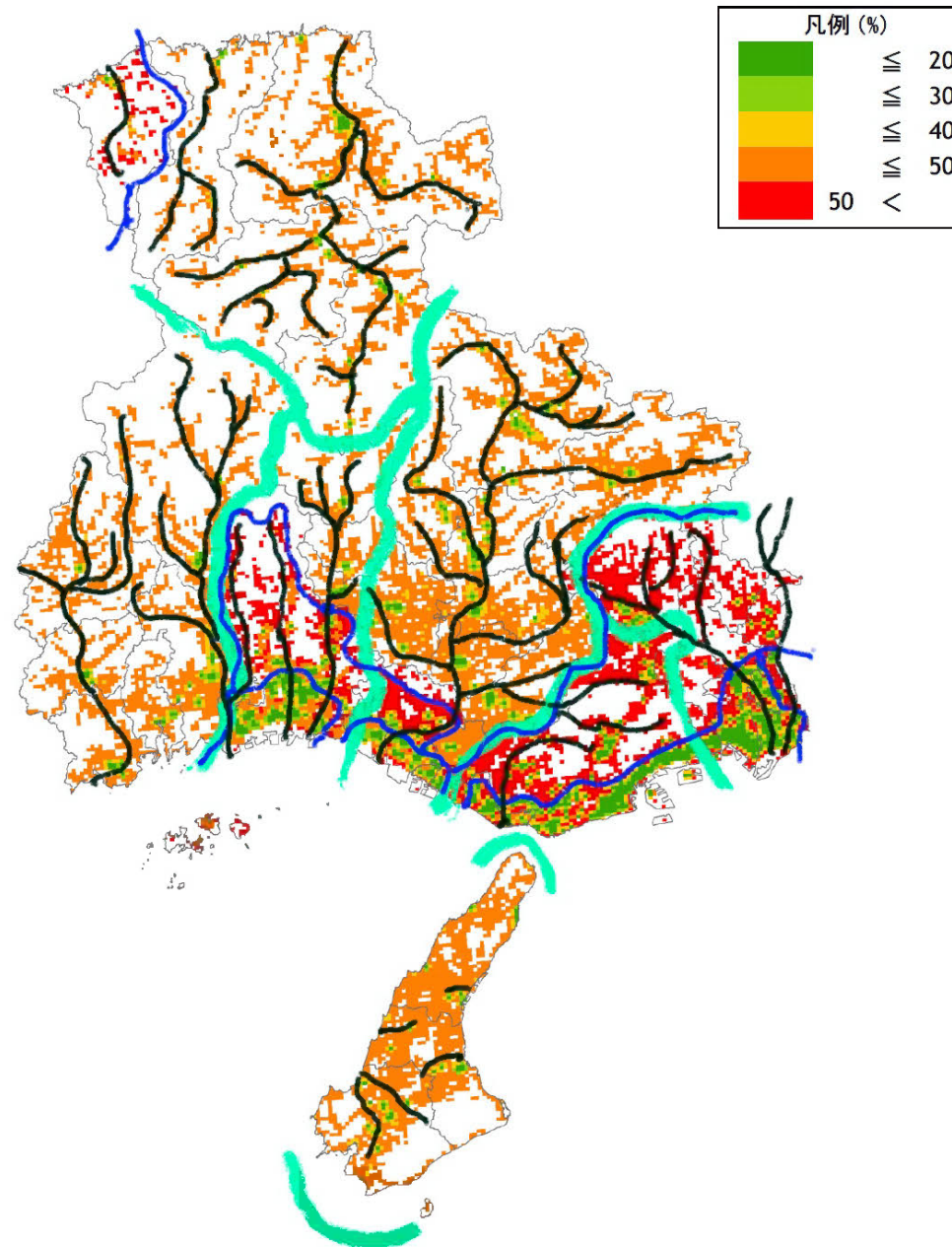
75歳以上 食料品アクセス困難人口の割合 (2015年)
(28 兵庫県)

図18

買い物アクセス
貧困マップ2015
出典：農林水産政策研究所
食料品アクセスマップ

主要河川図

区域特性区分図
齊木崇人
20200727

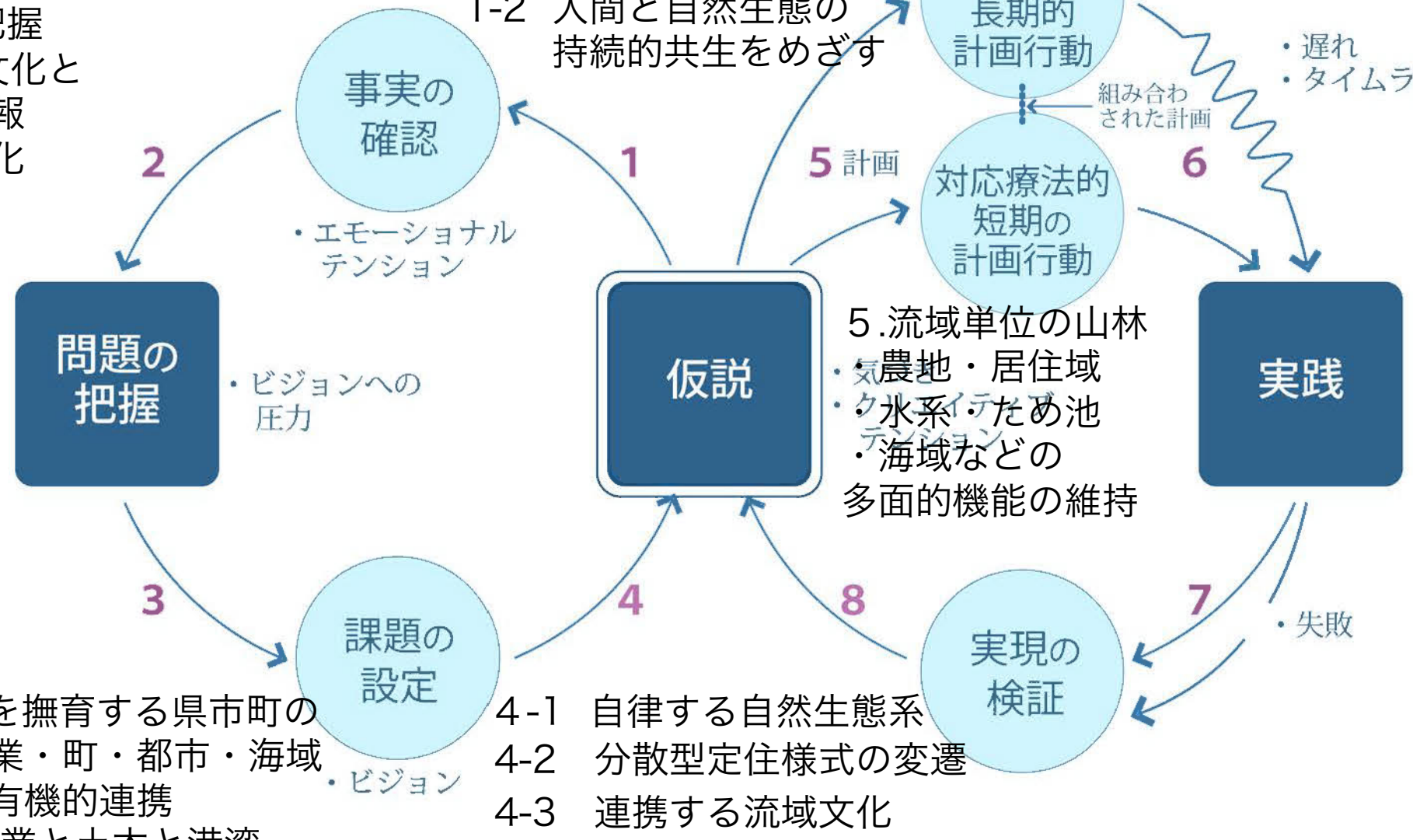


75歳以上 食料品アクセス困難人口の割合 (2015年)
(28 兵庫県)

- 2-1 流域単位の県政組織の再編
- 2-2 基礎コミュニティ単位の実態把握
- 2-3.流域の文化と生態情報の可視化

- 1-1 兵庫の流域文化と定住様式を捉えなおす
- 1-2 人間と自然生態の持続的共生をめざす

- 6. 流域文化と定住様式の多様性を地域の生態文化資源として活用

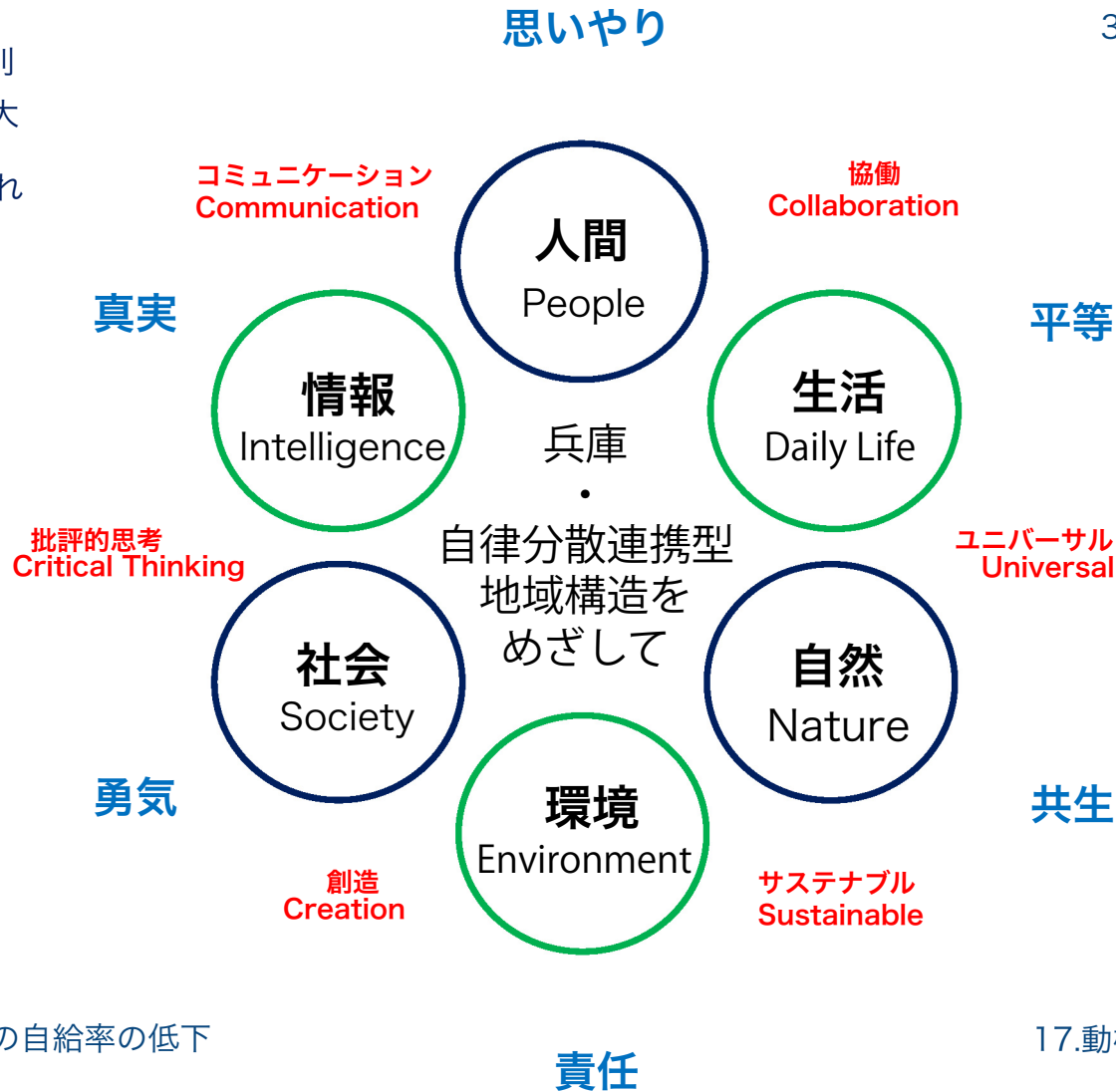


- 3-1. 各流域を撫育する県市町の治山・農業・町・都市・海域管理の有機的連携
- 3-2 林野と農業と土木と港湾漁業が連携

- 4-1 自律する自然生態系
- 4-2 分散型定住様式の変遷
- 4-3 連携する流域文化

図19

- 1.人口の減少少子化,高齢化
- 2.地域間の格差の増大
ジェンダー・人種・と差別
- 3.利便性優先の消費型経済の拡大
- 4.産業とICT技術の革新基盤の遅れ
- 5.グローバル化と
パートナーシップ経済の拡大
- 6.歴史的遺産の崩壊
- 7.デジタル情報の増大と拡散
- 8.犯罪の増加と対策の遅延
- 9.教育格差と質の低下
- 10.インナーシティの
地価高騰と郊外の下落
- 11. 公的未利用地と
未利用施設の増加
- 12. 公共交通体系の衰退と
交通弱者の増加
- 13.エネルギー・食糧供給の自給率の低下
- 14.水資源の不足
上下水道,工業用水,農業用水,海水



- 31.地域コミュニティの衰退、疎外、孤独
- 30.雇用機会の喪失
不況、ホームレス、所得格差、貧困
- 29.疾病の増加・拡散
- 28.健康や福祉対策の格差
- 27.住環境の老朽化と
ニュータウンの衰退
- 26.空地・空き家の増加,
利便施設の衰退・解体
- 25.無秩序な土地利用と土地の劣化
- 24.ごみ,廃棄物の増加
- 23.農地と里山の荒廃
生産基盤の弱体化
- 22.回復力や復元力の衰退
- 21.自然災害(地形,土壌,地質)
洪水、地崩れ、地震、津波
- 20.気候変動、台風、水害
- 19.大気汚染,温暖化
- 18.樹林地・民有緑地の持続的管理の放棄
- 17.動植物生態系の崩壊と生物多様性の損失
- 16.海域汚染と漁業資源の減少
- 15.安全な水質・土壌汚染・食料汚染対策の遅れ

凡例 20200717
 紺●：営みの主体：人間、社会、自然
 緑●：働きかける対象：生活、環境、情報
 橙●：今日の思潮 2020/03/13
 青●：アフターコロナ持続的課題 2020/03/13

12 情報の可視化ドローンによる空撮 図2 1 (映像)

令和2年6月1日現在

兵庫県の面積

8,400 km²

人口

5,448,274人

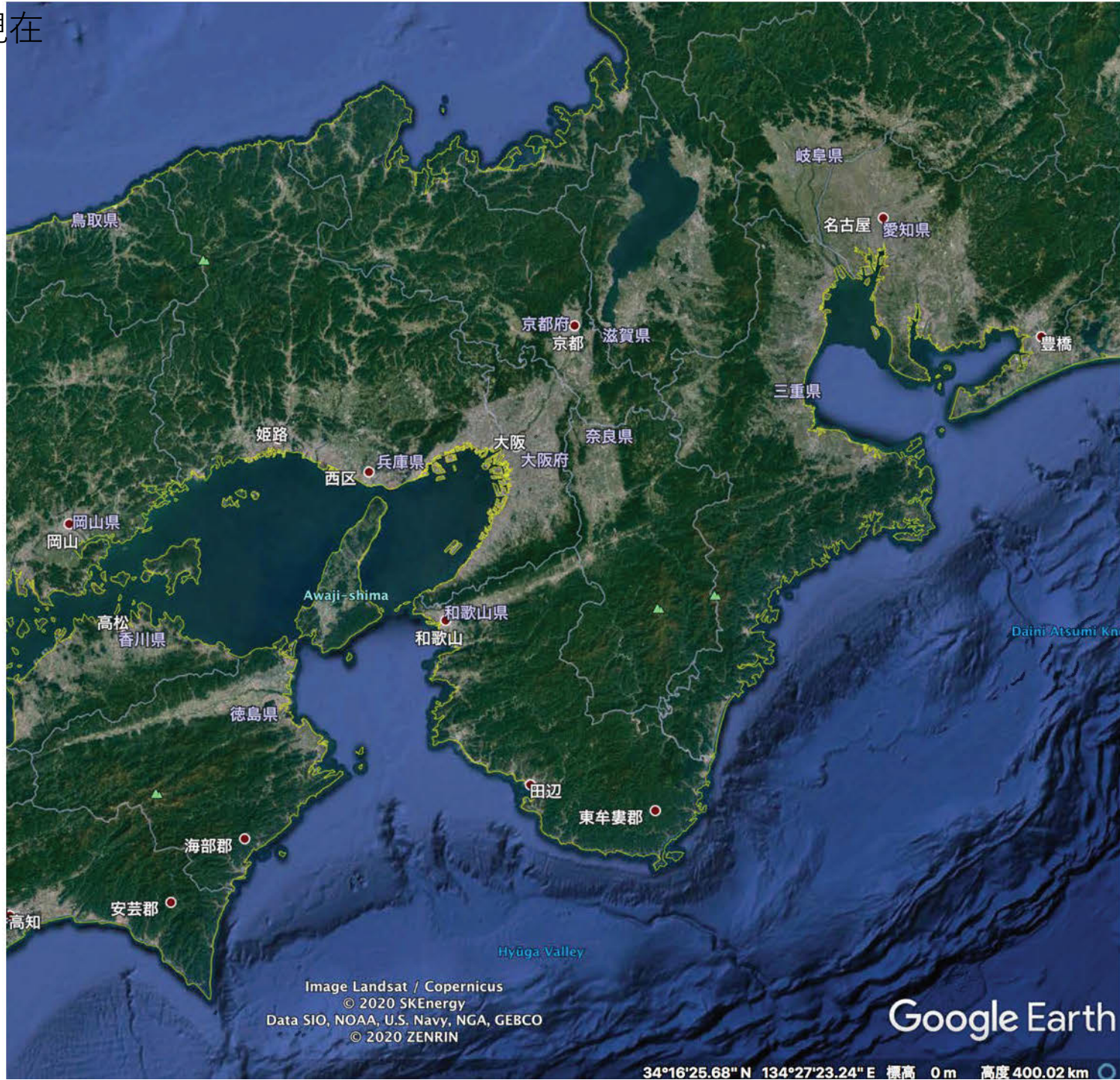
世帯数

2,397,831世帯

密度

648.6人/km²

285.5世帯



可住地面積(2017年)

41285 km² 33.1%

森林面積

5,606.61 km² 66.74%

自然公園面積

1,660.15 19.76%

水田面積

702.27 8.36%

畑地面積

121.45 1.45%

宅地面積

576.72 6.86%

スイス
国土面積
41285 km²
人口
8542300人

人口密度
204人



土地利用

耕作地…10%
穀倉地…2%
牧草地…28%
森林…32%
その他…28%

図23

農地率

38.36%

内陸水域(湖沼、河川)を除いた国土面積に対する農地面積の割合。農地には、耕地の他に牧草地も含まれる。

森林率

31.83%

内陸水域(湖沼、河川)を除いた国土面積に対する森林面積の割合。

- Copyright (C) 2010 JETRO.
All rights reserved.

農業(深緑) 39.6%
- 森林30.8%
- 居住・インフラ 6.8%
- その他(山岳・湖水など) 25.5%

ゲマインデ
コンミュン

図24



© Atlas der Schweiz, Bundesamt für Landestopographie, Wabern-Bern, 2. Ausgabe, 1984
 Atlas de la Suisse, Office fédéral de topographie, Wabern-Bern, 2e édition, 1984
 Atlante della Svizzera, Ufficio federale di topografia, Wabern-Bern, 2a edizione, 1984

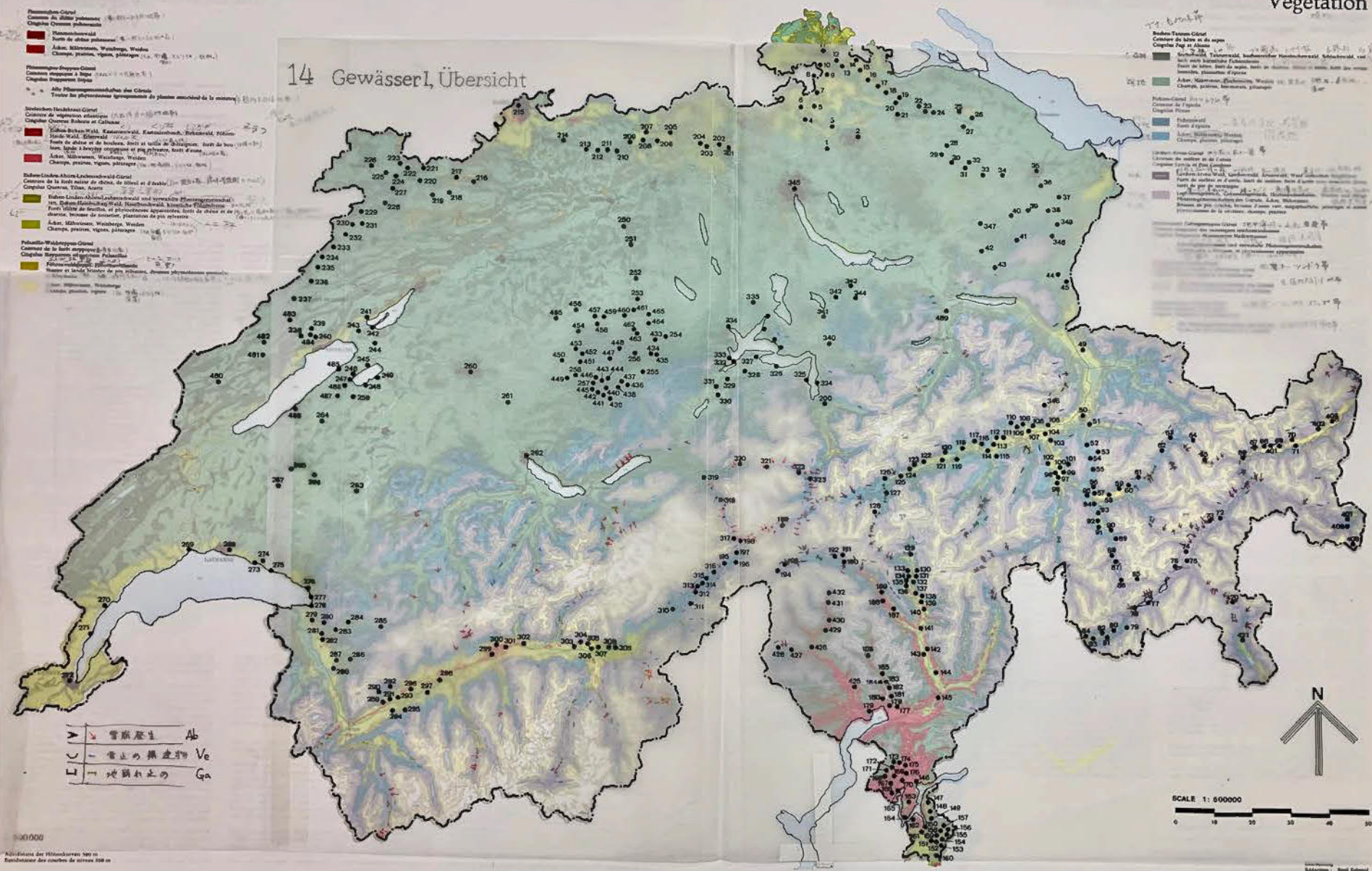
Autoren / Autoren / Autoren: Ewald Imhof (1. Ausgabe), Leo Roth, 2. edition, Eine Spiez (2. Ausgabe), 2e édition

Redaktion und kartographische Bearbeitung: Institut für Kartographie der Eidgenössischen Technischen Hochschule Zürich
 Rédaction et élaboration cartographique: Institut de cartographie de l'École polytechnique fédérale de Zurich
 Redazione ed elaborazione cartografica: Istituto di cartografia dell'Politecnico federale di Zurigo

7 Vegetation

- Rennweg-Gürtel**
Cintura de cămin pășunesc
Cintura Cămin pășunesc
- Flussweg-Gürtel**
Cintura râului și de apă
Cintura râului și de apă
- Alpen-Flora**
Alpine Flora
- Subalpine-Flora**
Subalpine Flora
- Alpine-Flora**
Alpine Flora

14 Gewässer, Übersicht



V 雪崩発生 Ab
 C 雪止の無産物 Ve
 L 地割れ止の Ga

Végétation

- Rennweg-Gürtel**
Cintura de cămin și de apă
Cintura râului și de apă
- Flussweg-Gürtel**
Cintura râului și de apă
Cintura râului și de apă
- Alpen-Flora**
Alpine Flora
- Subalpine-Flora**
Subalpine Flora
- Alpine-Flora**
Alpine Flora

スイスの
集落調査

1988
~1994
齊木崇人

図25

Klein, der Schweiz, Die Landeskarte, Walter Bern, 1944
Klein, der Schweiz, Die Landeskarte, Walter Bern, 1944

Kartographische Gestaltung: Bundesanstalt für Landestopographie, Eidgenössische Technische Hochschule, Zürich
Proiect cartografic: Birou de redacție, Editura de Știință, București, România

農業の
土地利用
と開発

図26

Wichtige Anbaugebiete
Importante régions de grandes cultures

■ Anteil des offenen Ackerlandes am Kulturland (Gesamtbesatz) am Kulturland (ohne Alpwiesen) mehr als 45 %; Oben und Gamsbau, geringster Anteil an Dauerweiden. Umfassende Bearbeitung, auf die Ackerbau Wirtschaften und Ackerbau. Proportion des terres ouvertes, cultures maraichères complètes, respectives à 45 % de la surface agricole utile, élevage ovicaprin, arboriculture et cultures maraichères. Peu de prairies permanentes. Elevage du bétail généralement à partir de prairies temporaires et de cultures d'été.

Ackerbau und Grünweiderei
Exploitation agricole (grandes cultures) et élevage

■ Anteil des offenen Ackerlandes am Kulturland 25 - 45 %; Oben und Gamsbau. Viehhaltung auf der Basis von Weidenweiden, Ackerbau und Dauerweiden. Proportion des terres ouvertes varie de 25 à 45 % de la surface agricole utile. Ackerbau et cultures maraichères. Elevage du bétail à partir de prairies temporaires, de cultures d'été et de prairies permanentes.

Gebirgsbau und Viehhaltung
Cultures montagneuses

■ Anteil des offenen Ackerlandes am Kulturland unter 15 %; Gamsbau und Dauerweiden. Proportion des terres ouvertes inférieure à 15 % de la surface agricole utile. Cultures maraichères, élevage à l'exploitation économique. Arborescence dans les régions d'altitude inférieure à 1000 m.

Alpen und Jurawalden (Sümpfengebiete im höheren Hügelland)
Prairies d'été et jurets et élevage dans les parties basses de la zone des collines

Rohbau / Viehwirtschaft
■ Gebiete zusammenhängende Anbau Importation zusammenhängende Anbau Kleine Anbau zusammenhängend Pasture permanente diversifiée

Wald / Forst
■ Gebiete zusammenhängende Anbau Importation zusammenhängende Anbau

Wald / Forst
■ Gebiete zusammenhängende Anbau Importation zusammenhängende Anbau

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| I | 山地耕種地 | A | 山地耕種地 |
| II | 山地耕作地 | G | 山地耕作地 |
| III | 山地耕作地 | V/A | 山地耕作地 |
| IV | 山地耕作地 | R | 山地耕作地 |
| V | 山地耕作地 | ON | 山地耕作地 |

Mark Wirtschaft Gebiete
Régions de constructions denses

■ Gebiete oder zusammenhängende Gebiete Grand habitat urbain

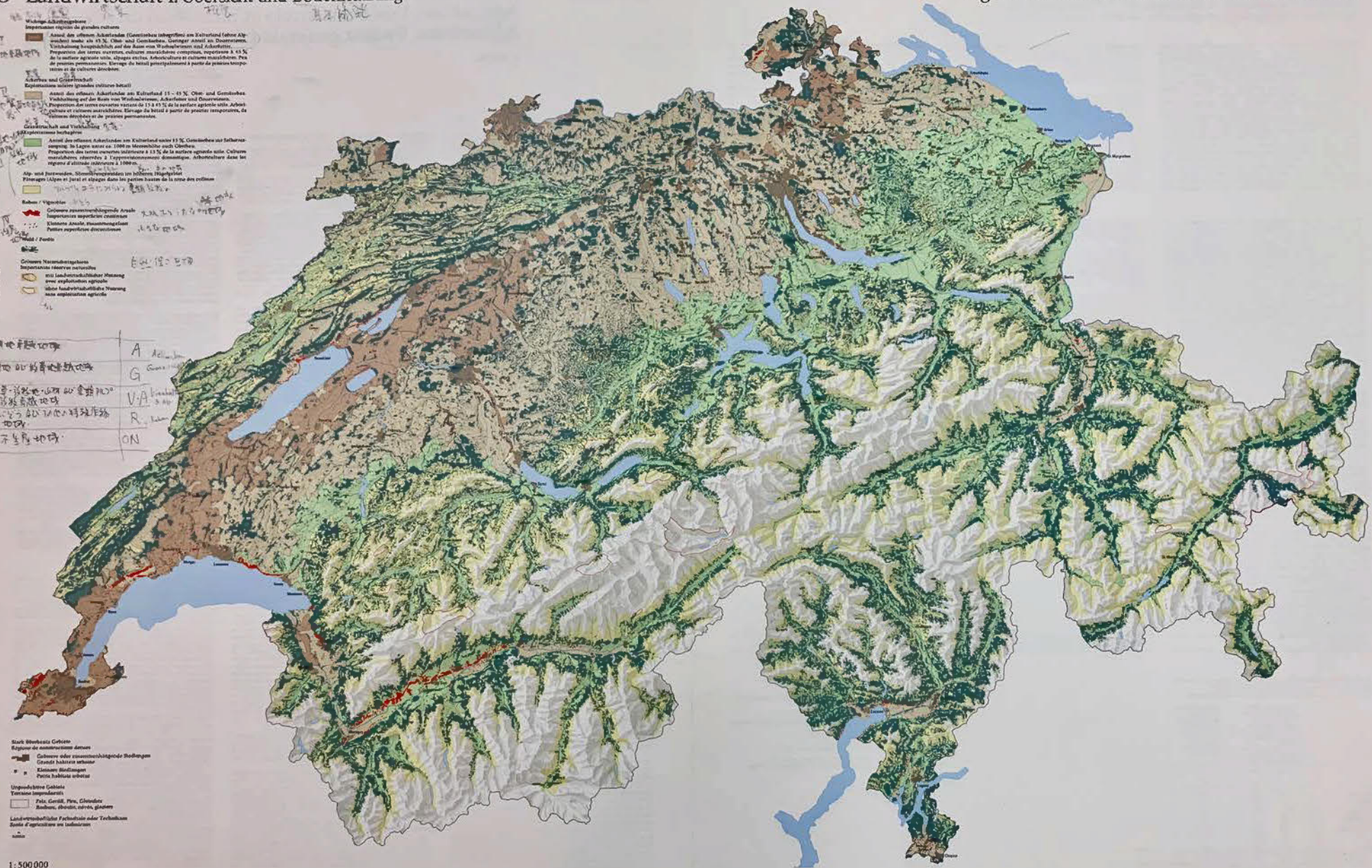
■ Kleine Siedlungen Petits habitats urbains

Ungebaute Gebiete
Terrains improductifs

□ Feld, Gerstl, Weiz, Getreide; Rohbau, Obstbau, Wein, Gärten

Landwirtschaftliche Fachkräfte oder Techniker
Spécialistes agricoles ou techniciens

1:500 000



Vegetation

Végétation

植生图

图27

Transsylvanien-Gebiet
Centres de sites paléontologiques
Cingula Nivosa paléontologica

Transsylvanienwald
Forêt de sites paléontologiques
Aulx, Mikovitsen, Wessberg, Wuden
Champs, prairies, vignes, pâturages

Flammberg-Region-Gebiet
Centres espérances à Sapa
Cingula Neoparvus Sapa

Alle Phytogeographischen des Gebiets
Tous les phytogéographes (groupements de plantes associées de la nature)

Steinbach-Hörsing-Gebiet
Centres de végétation adhésive
Cingula Ovaria, Rabata et Galatae

Wald-Birken-Wald, Kastanienwald, Kirschenwald, Birkenwald, Pflanzwald
Forêt de sites et de bords, forêt et taillis de montagne, forêt de bois secs, forêt à bruyère cespiceuse et pins sylvestres, forêt d'aune
Aulx, Mikovitsen, Wessberg, Wuden
Champs, prairies, vignes, pâturages

Birken-Linden-Ahorn-Lärchenwald-Gebiet
Centres de la forêt haute de sites et d'aune
Cingula Ovaria, Tilia, Acer

Birken-Linden-Ahorn-Lärchenwald und verwandte Phytogeographische
Forêt haute de sites, et phytogéographie associée, forêt de sites et de bords, bruyère de montagne, plantation de pins sylvestres
Aulx, Mikovitsen, Wessberg, Wuden
Champs, prairies, vignes, pâturages

Podolisch-Malajew-Gebiet
Centres de la forêt steppeuse
Cingula Neoparvus Malajew

Podolisch-Malajew-Gebiet
Steppes et landes humides de pins sylvestres, aunes phytogéographes prairies et herbages
Aulx, Mikovitsen, Wessberg
Champs, prairies, vignes

Buchen-Tannen-Gebiet
Centres de sites et de sites
Cingula Tug et Alpa

Buchenwald, Tannenwald, Buchen-Tannenwald, Buchen-Tannenwald, Buchen-Tannenwald
Forêt de sites, forêt de sites, forêt de sites, forêt de sites, forêt de sites
Aulx, Mikovitsen, Wessberg, Wuden
Champs, prairies, vignes, pâturages

Fichten-Gebiet
Centres de l'épicéa
Cingula Fichte

Fichtenwald
Forêt d'épicéa
Aulx, Mikovitsen, Wessberg
Champs, prairies, vignes

Lärchen-Auen-Gebiet
Centres de sites et de sites
Cingula Lärchen et Fichte
Lärchen-Auenwald, Lärchenwald, Kirschenwald, Wald Kirschenwald, Wald Kirschenwald
Forêt de sites et de sites, forêt de sites, forêt de sites avec sous-bois divers, forêt de pins de montagne
Lärchenwald, Kirschenwald, Kirschenwald, Wald Kirschenwald
Forêt de pins sylvestres bruyère d'aune verte, magyrophane, pâturage et autres phytogéographes de la nature, champs, prairies

Mediterran-Gebiet
Centres steppeuses des montagnes méditerranéennes
Cingula Neoparvus Neoparvus Mediterranea
Steppes méditerranéennes et vallées Phytogeographische
Centres des sites et de sites, et phytogéographie associée
Aulx, Mikovitsen, Wessberg, Wuden
Champs, prairies, vignes, pâturages

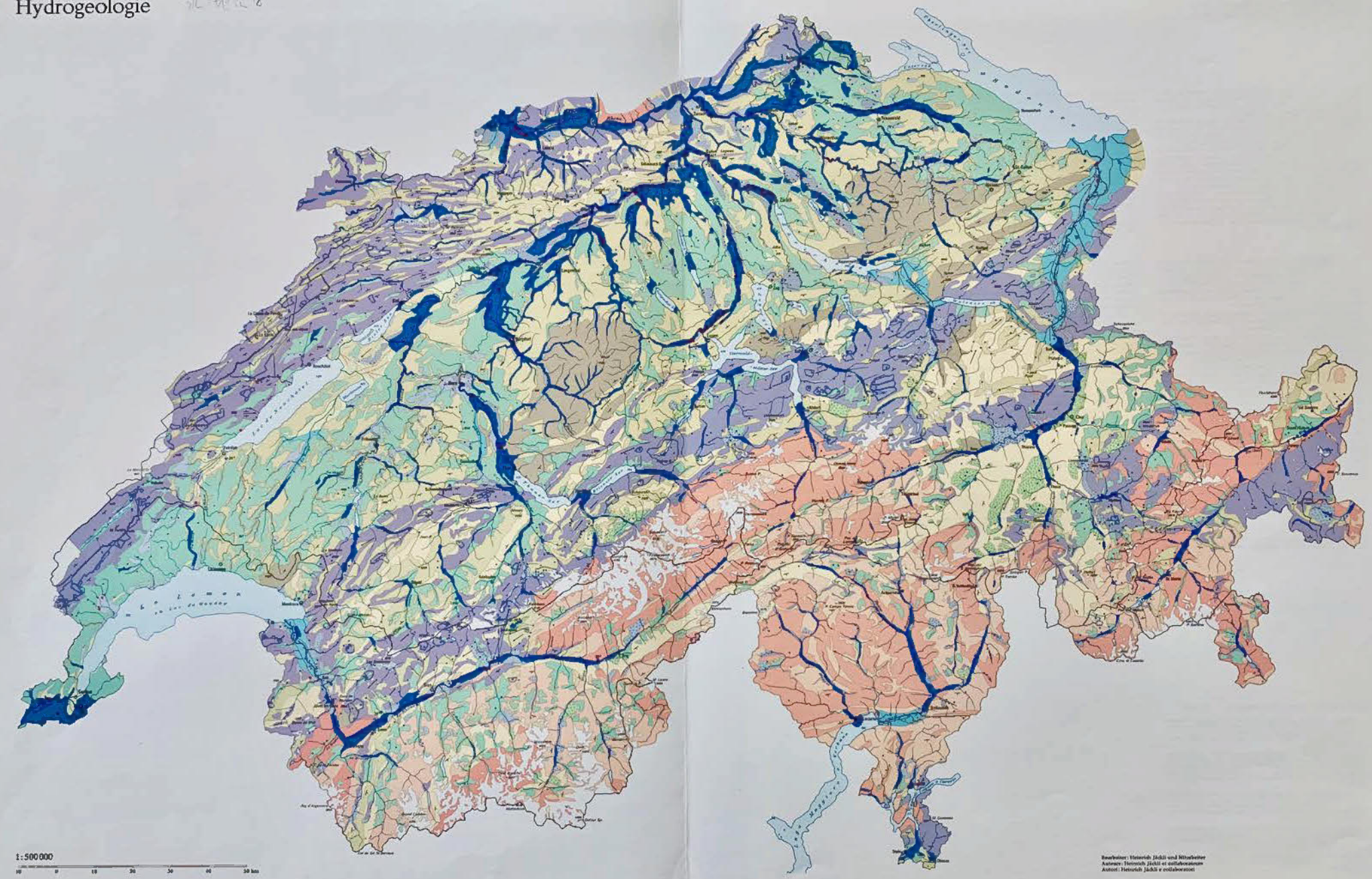
Zwergtauch-Tundra-Gebiet
Centres de la tundra d'arctiques
Cingula Neoparvus arctico-alpina
Tous les phytogéographes de la nature

Arktisch-alpine Steppen-Gebiet
Centres steppeuses arctico-alpines
Cingula Neoparvus arctico-alpina
Tous les phytogéographes de la nature

1:500 000

Échelle au 1:500 000
Échelle au 1:500 000

図28



1:500 000

0 10 20 30 40 50 km

© Atlas der Schweiz. Orig. Landeskarte: Walter Baur, 1967
 Atlas de la Suisse. Service topographique fédéral, Willem-Claus, 1967
 Atlas der Schweiz. Service topographique (italien), Walter Baur, 1967

Kartographische Gestaltung: Redaktion des Atlas der Schweiz, Eidgenössische Technische Hochschule, Zürich
 Texte cartographiques: Bureau de rédaction, Atlas de la Suisse, Ecole Polytechnique Fédérale, Zurich
 Progetto cartografico: Ufficio di redazione, Atlante della Svizzera, Politecnico Federale Svizzero, Zurigo

Kartographische Gestaltung: Redaktion des Atlas der Schweiz, Eidgenössische Technische Hochschule, Zürich
 Texte cartographiques: Bureau de rédaction, Atlas de la Suisse, Ecole Polytechnique Fédérale, Zurich
 Progetto cartografico: Ufficio di redazione, Atlante della Svizzera, Politecnico Federale Svizzero, Zurigo